



仙台商工会議所

[TOPへ戻る](#)

活用メニュー

経営相談

融資制度

ビジネスを拡大

おトクな共済

人材育成・人材確保

IT化

セミナー

各種申請・証明

福利厚生

HOTな情報・データベース

検定試験

会議室貸し出し

その他

[\(仙台商工会議所とは\)](#)
[\(会議所の事業・活動\)](#)
[\(入会案内\)](#)
[\(会員サービス\)](#)
[トップページ >](#)

○部会の動き

■ 2008.05.26 | 理財部会 |


仙台・東北の不動産証券化事情を聞く！理財部会

理財部会(鎌田宏部会長)では、不動産と金融の融合を目指し平成10年から活動を進めているアセットブレインズ仙台ネットワークの佐々木正之事務局長を講師に招き、「仙台・東北圏の最新不動産証券化事情」をテーマに講話を聞く、5月定例常任委員会を開催しました(40人参加)。

佐々木氏によると、「わが国の不動産証券化の推移を見てみると、昨年初めごろまでは順調に推移していたが、昨年5月に長期国債の利回りが上昇したことや、アメリカのサブプライム問題、改正建築基準法のスタート、金融商品取引法施行に伴うコンプライアンス問題などが市場にマイナスに働いた結果、急速な冷え込みを見せている。全国的に見て、もともと仙台・東北圏では証券化事業はあまり活発に行われてきた地域ではないこともあるが、今年に入ってからの新規の売買はほとんど見られない状況。今後の地域開発を考える上では、北陸の白山市で行われた行政の土地にフィットネスクラブと駐車場をつくった成功事例などをもとに、地方における不動産証券化市場活性化策を考えていくことが大切だ」という説明がありました。